

日 田 商 工 会 議 所 労 務 委 員 会 議 事 録

1. 日 時 令和5年12月26日(火) 午前10時00分
2. 場 所 日田商工会館 議員サロン
3. 出席者名 (会 頭) 十時 康裕
(担当副会頭) 河津 龍治
(専務理事) 樋口 恒成
(委 員 長) 伊藤 哲司
(副委員長) 谷口 知幸
(委 員) 日野 敏彦、田邊 康宏
(事務局) 伊藤 宏、春口 国博、永瀬亜沙美
4. 議 題 ①今年度の委員会活動について
②来年度の委員会活動について
③その他

5. 議題概要

定刻となり伊藤事務局長より開会を告げ、委員長、河津担当副会頭の挨拶の後、委員長が議長となり議案審議に入る。

①今年度の委員会活動について、委員長より話しがある。かねてより谷口副委員長と協議しながら、セミナーのテーマを検討してきた結果、運輸業と建設業にとって喫緊の課題である2024年問題に関する話を頂いたらどうか、との結論に至り、先般、日田労働基準監督署を訪ねて事前協議を行なってきたところである。その結果、講師として担当課長を派遣頂く事は問題ないが、2024年問題を主題に据えるのではなく、「長時間労働と働き方改革について ～2024年問題～」というタイトルの方が好ましい、という提案を頂いたため、その内容で監督署へ講師派遣依頼を提出し、全議員に開催通知をお送りしようと考えているところである。以上の説明の後、内容について諮るに異議なく委員長からの提案通り承認される。その後、開催日程に関して協議の結果、2月6日(火)の15時から商工会館にて開催することで決定する。なお、副会頭より、セミナーへの参加は議員本人に限定せず、労務担当の社員等も参加できるよう案内文書に盛り込んで頂きたい、との提案があり、了承される。また、委員長より監督署での下打合せの際に、セミナー会場でのプロジェクターとスクリーンの準備について要請を受けており(PCは持ち込みとのこと)、事務局へ準備方を要請する。加えて委員長より、セミナーの案内文書を作成する際には、質問事項等を記入できる欄を設け、事前に監督署宛てに質問事項等をお伝え頂ければ、セミナー当日に回答できるよう準備したい、との申し出も頂いているため、是非積極的に活用頂きたい、との話があり、協議を終える。

②来年度の委員会活動について、委員長より配布した資料に当委員会の過去の実施事業の一覧が掲載されたペーパーをご覧頂きたい旨説明し、出席委員へ意見を募る。

(田邊委員) 新年度以降、提出書類の様式や労働時間の管理方法等も変わってくると思われるため、2024年問題に関して監督署の方の話しを聞くのも有意義だが、具体的

な手続きや対応策等、実務的な話しを聞きたいところである。例えば社労士から先行事例や優良事例を紹介してもらい、などが考えられないか。

(谷口委員) 従業員の増員は難しく、労働時間も増やせない状況下では既存の設備と人員で生産性を上げるしかないと思う。それができれば賃上げにも結び付くはずである。但し、そんなに簡単にクリアできる問題だとは思っていないが、近隣に成功した企業があるならば、例え業種が自社と違ったとしても話しを聞いてみたいところである。

(委員長) 市内もしくは近隣の企業で働き方改革に成功したところがあるかどうかは不明だが、各方面にて情報収集し、話しを聞くことができないか交渉してみたいと考えている。但し、個別企業の内部事情であり、労働組合との兼ね合い等のしがらみも想像できるため、講師探しは難航するであろうことはご理解頂きたい。

以上の意見を取りまとめ、次年度も引き続き働き方改革に関する研修を重ねることとし、セミナー開催を委員会事業の柱に据えることとなり、予算は前年同額の10万円を要求することで全員了承する。

③その他、特段の報告事項や質問もなく会議を終了した。

(10時55分終了)